





タイトル	みんなちがってみんないい～文化も考え方も～
実践者	清水 香奈
実施日・期間	平成24年9月28日、10月19日・26日 (計4時間)
主な実施場所	群馬県立榛名養護学校 (本校は知的障害の生徒が在籍する特別支援学校である。)
参加者及び人数	高校1年生8名 ＜生徒の実態＞ 本学級の生徒は、知的障害からくる生活経験の不足や過去の辛い経験などから、自分に自信を持って、他者と関係を築くことを苦手とする面がある。事前に行ったアンケート調査では、5名の生徒が知っている国として、何れ国かの国名を挙げられていたが、本実践の題材として扱うブータン王国について知っている生徒はいなかった。また、言語での表現が難しい生徒が3名いる。
目標・ねらい	＜目標＞ ・ブータン王国について知り、世界を広げるきっかけをつくる。 ・皆違ってそれぞれに良さがある「みんなちがって、みんないい」という「他者を認め、受け入れる心」を育てる。 ・「助け合いの精神」と「思いやりの心」を育てる。 ＜ねらい＞ 本実践では、国への理解から、自己理解、他者理解へ広げていきたい。異文化に触れ、異文化を受け入れていく経験をすることで、自分とは異なる個性を持つ他者を理解し、互いの良さを認め合い、協力し合う気持ちを育成していきたい。また、生徒には社会に出てからも、新しい環境や人との出会いが待っているが、相手を認め、環境を受け入れていく柔軟な力を身に付けてほしいと考えている。そして、他者と自分を比較し、落ち込むのではなく、人とは違うけれど、自分にも良さがあると自信を持てるような実践にしたい。
具体的な取り組み内容及び工夫・配慮した点等	＜取り組み内容＞ (より具体的な取り組み内容は参考資料を参照してください。) 1 時限目：【ブータンを知ろう。】 ①ブータン式のもてなしを体験する。 ②日本人とブータン人の顔を比較する。 ③世界地図で、日本とブータンの位置を確認する。 ④ブータンの写真や動画を見て、ブータンの様子や日本との繋がりを知る。 2 時限目：【ブータンと日本を比べてみよう。～文化・生活・人々～】 ①1時間目で紹介した、クズザンポー(こんにちば)で挨拶をする。 ②ブータンと日本の比較をする。 ③食事について1枚の写真を見て、日本と同じ所、違う所を見つける。 ④カディンチェラ(ありがとうございます)で挨拶をする。 3 時限目：【ブータンと日本を比べてみよう。～考え方・幸せ①～】 ①クズザンポーで挨拶をする。 ②瞑想体験をする。 ③「助け合い」「思いやり」「ゆずり合い」の場面を見て、自分ならどうするか考える。 ④幸せについて考える。 4 時限目：【ブータンと日本を比べてみよう。～考え方・幸せ②～】 ①「クズザンポー」で挨拶ゲームを行う。 ②「殺生を嫌う」ことについて考える。 ③物語から尊敬、協力、友情について考える。 ④ブータンの子どもたちからのメッセージ動画を観る。 ＜全体を通して工夫・配慮した点＞ ルンタ(旗)、お香、ブータンの音楽などを使用し、生徒がいつもと違う雰囲気を感じられるような環境作りを行った。まずは教師に注目できるよう、民族衣装(キラ)やブータンTシャツを着て授業を行った。 言語だけの情報では理解が難しい生徒が多いため、パワーポイントを用いた視覚教材(写真や動画)を多く取り入れ、捉えやすくした。現地の生の声を届けられるように、ブータン王国でインタビュー撮影を行い、ブータンの子供達がどのようなときに「幸せ」を感じるかを紹介した。生徒は、現地の子供の映像に強く興味を示していた。また、1時間ずっと座学では集中力の維持が難しいため、1時間の中に必ず動きのある活動を取り入れた。そして、全員が授業に参加できるように、比較をするときに「同じ」「ちがう」カードを使用したり、文字での表現が難しい生徒には、シールを使用できるようにしたりした。

<p>教材・資料</p>	<p>【1時限目：ブータン紹介のパワーポイント(一部抜粋)】 (日本のマークたくさん)</p>  <p>おもてなし なかよし 日本人は人気者☆ なぜ?</p>
	<p>【2時限目：食事についてのワークシート】</p>  <p>【2・3時限目：「同じ」「ちがう」カード】</p> 
	<p>【3時限目：ブータンの子どもたちの幸せインタビュー (動画一部抜粋)】</p>  <p>勉強できるとき 家族と楽しくすごしているとき 友だちが優しくしてくれたとき 両親といるとき</p>
	<p>【4時限目：ブータンの子どもたちからのメッセージ (動画一部抜粋)】</p>  <p>一生懸命勉強してください いつまでも幸せにいてね いつかブータンに来てね 日本人に会いたい 一生懸命勉強してね ブータンに来てね</p>
<p>成果</p>	<p>特別支援学校において、国際理解/開発教育は未開拓の分野であるが、私は生徒の世界を広げ、心の成長を促すという意味でとても重要であると思う。授業のときの生徒の反応はとても生き生きしており、目が輝いていた。年度末、生徒に「今年一番楽しかったこと、頑張ったこと」を聞くと、半数の生徒が『ブータンの授業』と答えており、今でも日常生活の中でも「ブータン」「クズザンポー」と口にしており、印象に残ったということが分かる。</p> <p>生徒が最初に関心を示したのは、キラを着た教師と写真の中の教師である。生徒の学ぶ意欲は、自分にとって馴染みのあることから「未知なる世界」へ広がっていく。生徒にとって身近な存在である教師が、現地地で体験したことを伝えたことに大きな意味があったと思う。また、視覚教材を多く使用したことで、生徒の関心は高まり、理解が深まったと思う。</p> <p>「同じ」「ちがう」カードを用い比較し、正解・不正解はなく、それぞれの考え方で良いという学習を繰り返して行ったことで、自分と友だちの意見も、日本とブータンもどちらが良いではなく、それぞれに良さがあることを感覚として捉えられた実践となった。授業実践を行ってから、友だちに優しくできる生徒が増え、キーワードとして扱った「助け合い」「思いやり」という言葉を教室で耳にすることも増えた。また、普段自分の意見を言えない生徒も、本実践を行う中で、自分の発言に自信を持てるようになり、授業中の発言回数が増えた。</p> <p>特別支援学校の生徒に国際理解/開発教育を行うことの意義は、生徒が新たな世界について学ぶことで、生徒自身の意識や行動が変わるという部分にあると思う。日頃、決まった世界の中で生活することが多い生徒にとって、新しい世界との出会いには、とても大きな価値があると思う。</p>
<p>発展</p>	<p>本実践の中で扱った「互いの良さの尊重」や「助け合い」「思いやり」については、実践後も学校生活の中で折りに触れて扱ったことで、定着してきたように感じる。言葉で、「友だちを大切にしよう。」「協力しよう。」というのではなく、具体的に学習をしたことで生徒の心も育ち、身についたのだと思う。今回扱ったブータン王国という国は、生徒の道徳心を育てることもとても有効な国であると感じる。</p> <p>今回は「比較から捉える互いの良さの尊重」というところをねらいの中心として授業を行ったが、どこに焦点を当てるかで様々な授業展開ができる。今後も同じ実践を繰り返して行ったり、ねらいを変えた実践を行ったり、ブータン王国を扱った授業を継続して行っていきたい。</p>

参考資料

<具体的な取り組み内容>

1 時限目：【ブータンを知ろう。】

学習内容	・：生徒の活動 []：教師が工夫、配慮した点
<p>○ブータン式のもてなしを体験する。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルンタ(旗)やお香があり、ブータンの音楽がかかった教室に入る。 [生徒がいつもと違う雰囲気を感じられるような環境作りを行う。教師は、キラを着て生徒を出迎える。「クズザンポー」と挨拶をして、ゾンカ(ブータンの母国語)と英語で話をする。] ・ ガジャとクッキーのブータン式のもてなしを体験する。 [一人一人にゾンカと英語で語りかけ、ガジャとクッキーを配る。]
<p>○日本人とブータン人の顔を比較する。</p>  <p>(日本人) (ブータン人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分は何人であるか確認する。 ・ ワークシートの日本人とブータン人の顔写真の中から、日本人を選ぶ。 [生徒が選ぶ時点では、日本人以外の方がブータン人であることは明かさず、次の学習に繋げる。選び終わったところで、<u>パワーポイント</u>を用い、正解を発表する。] ・ 日本人以外の人たち(ブータン人)はどのような民族衣装を着ているのか写真を見る。 [顔は似ていても、違う国の人であるという印象がつくように、ここで初めて、本日学習するのはブータン王国であることを伝える。]
<p>○世界地図で、日本とブータンの位置を確認する。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人以外の人たち(ブータン人)はどのような民族衣装を着ているのか写真を見る。 [顔は似ていても、違う国の人であるという印象がつくように、ここで初めて、本日学習するのはブータン王国であることを伝える。]  <p>ゴ キラ</p>
<p>○ブータンの写真や動画を見て、ブータンの様子や日本との繋がりを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地形、言葉、町並み、学校、家、日本(JICA)のマークなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本とブータンの位置を確認する。 [どのくらい離れているかを捉えやすくするため、どのような方法で行くのか、飛行機で何時間かかるのかを具体的に伝え、遠く離れていても、顔が似ている国であることを伝える。] ・ ブータンの音楽と一緒に、写真や動画を見て、もし自分がブータンを旅したらどのような雰囲気かを味わう。 ・ 日本人が人気者であるのはなぜかを知る。 [興味を持てるように、クイズを出題しつつ、エピソードを紹介する。]

2 時限目：【ブータンと日本を比べてみよう。~文化・生活・人々~】

学習内容	・：生徒の活動 []：教師が工夫、配慮した点
<p>○ブータンと日本の比較をする。</p> <p>(例) ポスト、トイレ、皿洗い、道路、自然、田、ポイ捨て、信号、買い物、秤、授業、国王、生徒会、お弁当</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブータンの写真や雑貨を見て、日本と「同じ」か「違う」かを判断し、「同じ」「ちがう」カードを挙げる。 [パワーポイントのコメントに着目して同じか違うかを判断できるように声をかける。一人で考えることが難しい生徒は、教師の問いかけに答える形で選ぶようにする。なぜ同じと感じたか、違うと感じたか考えを発表する場を設け、答えた生徒の考えを採用し、正解、不正解はなく、自分の感覚で良いことを伝える。日本と同じと感じる人も、違うと感じる人もいて良いことを伝える。]
<p>○食事について1枚の写真を見て、日本と同じ所、違う所を見つける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の様子を見て、何が同じで、何が違うかを自由に考え、ワークシートに書き込む。 [文字で表現することが難しい生徒は、同じ所に青シール、違う所にピンクシールを貼れるようにする。] ・ 全体で、写真を見ながら考えを発表しあう。 [自分と同じ考えの人も、違う考えの人もいて良いことを伝える。] ・ パワーポイントの写真を見ながら、ブータンの食事についての説明を聞く。


【2時限目：ブータンと日本を比較してカードを挙げる（パワーポイント一部抜粋）】



3時限目：【ブータンと日本を比べてみよう。～考え方・幸せ①～】

学習内容	・：生徒の活動 []：教師が工夫、配慮した点
<p>○瞑想体験をする。</p>  <p>○「助け合い」「思いやり」「ゆずり合い」の場面を見て自分ならどうするか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年上の方が年下の方の面倒をみる。 ・鼻血が出ってしまった子に友達が付き添う。 ・コマや竹とんぼが人数分なくても、譲り合って遊ぶ。 ・挨拶をするときは、皆笑顔になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示を聞き、2分間、座禅をくみ目を閉じて、頭の中を空にする。 [瞑想とは言わずに、「ブータンで、お坊さんや子どもたちが学校で行っていることをまねてやってみよう。」と言い、体験できるようにする。] ・瞑想の説明を聞き、考える。 [考え方が大切であることに気付くことができるように、ブータン人が瞑想を行う理由を、考え方、口、体の図を用いて説明する。「瞑想をすると自分の考えがどこにあるか分かる。一番大切なことは『考え方』であり、考え方を素晴らしくすることで『口』は悪いことを言わなくなり、話し方が良くなり、『体』をきれいに健康にすることができる。」という僧から聞いたエピソードを生徒に分かりやすく説明し、ブータン人の考え方に繋げる。] ・写真や動画と共に、ブータンで教師が見てきた「思いやり」や「助け合い」などのエピソードを聞いて、自分と同じか違うかを考え、「同じ」「ちがう」カードを挙げる。 [写真や動画、文字など視覚的な情報を提示し、自分だったらどうするか想像できるようにする。正解、不正解はなく、自分の感覚で良いことを伝える。自分と同じと感じる人も、違うと感じる人もいて良いことを伝える。] 
<p>○幸せについて考える。</p> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px;"> <p><生徒のアンケート 抜粋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごろごろのんびり ・ゲーム ・本 ・歌 ・ダンス ・アイス食べたとき ・車に乗っているとき ・勉強がんばったとき ・みんなと仲良かったとき ・友だちといるとき ・友だちが笑顔のとき ・友だちが優しいとき ・みんなと協力できたとき </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に行った「あなたが幸せ（嬉しいな）と感じるのはどんな時ですか。」というアンケートの回答を振り返る。 ・ブータンの子どもたちがどんな時に幸せを感じるのか、英語で答えているインタビュー映像を観て、何を言っているのか予想する。 ・自分と同じか違うかを考え、「同じ」「ちがう」カードを挙げる。 [日本語で字幕を付け、何を言っているのか捉えやすくする。]

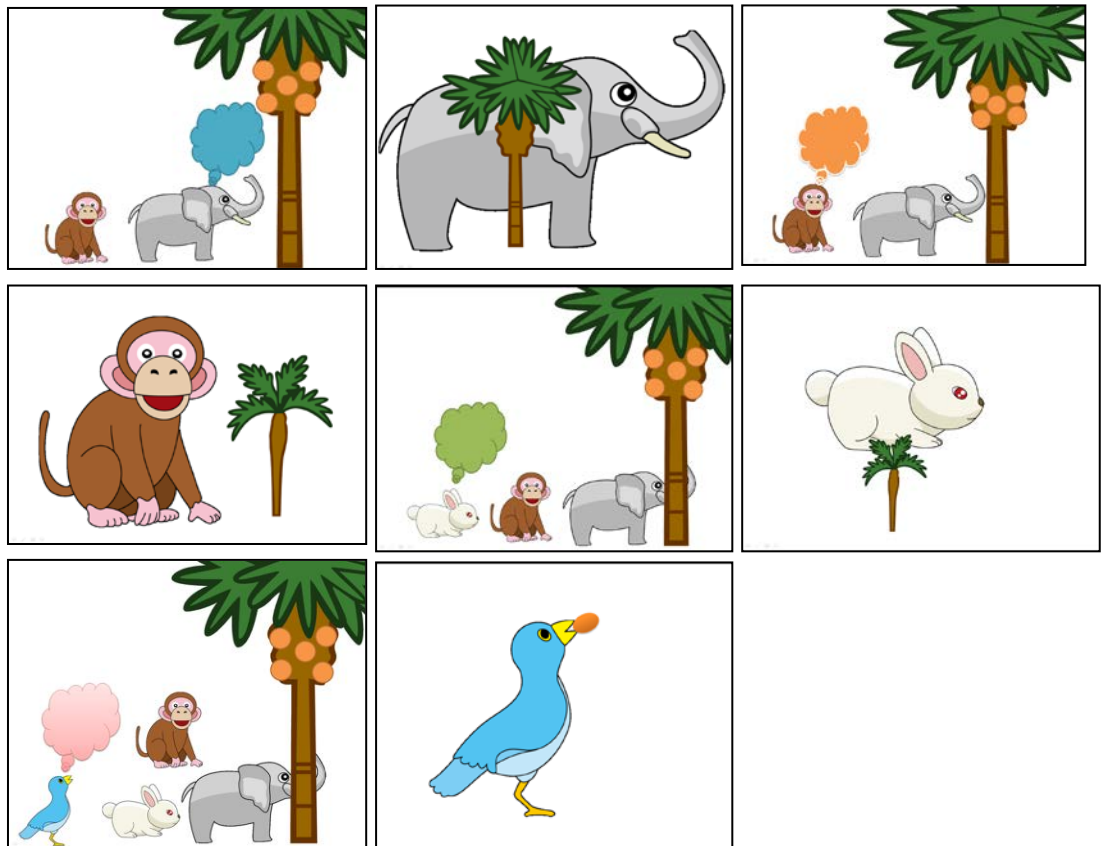
4時限目：【ブータンと日本を比べてみよう。～考え方・幸せ②～】

学習内容	・：生徒の活動 []：教師が工夫、配慮した点
<p>○「クズザンポー」で挨拶ゲームを行う。</p> <p>(ルール) ブータン流は笑顔を忘れずに。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて動き、ストップしたところで近くの友だちと挨拶をする。 ・挨拶を交わした相手の挨拶シートに自分のシールを貼る。 [全員と挨拶できるように呼びかける。挨拶を覚えられない生徒が読めるように、挨拶シートには「クズザンポー」と書いておく。]
<p>○「殺生を嫌う」ことについて考える。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に蚊が止まったらどうするかを表現する。 [蚊の模型を動かし、自分ならどうするか想像しやすくする。叩くと答えた所で、ブータン人は殺さずに手で払うことを伝える。] ・ブータン人が「殺生を嫌う」エピソードを聞く。 [様々な動植物の絵を登場させ、ブータン人は『周りの生き物全てが幸せになる』ことを願っており、自分が小さな良いことをすることで、皆に幸せになってほしいと考えているということを伝える。]
<p>○物語から尊敬、協力、友情について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブータンで有名な「4フレンズ」の物語を聞く。 [パワーポイントや動物、木、実の絵を用い、物語を話す。] ・動物がどうやって木の実を採ったのかを考える。 [物語を聞き、ブータン人の思いを知ることができるように具体物を動かして考えられるようにする。ブータン人が尊敬、友情、協力を大切にしていることを伝える。]
<p>○ブータンの子どもたちからのメッセージビデオを観る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のメッセージを聴き、何を言っているか予想しながらメッセージビデオを観る。 ・どのようなメッセージであったか振り返り、どう感じたか感想を言う。 [まとめとして、紹介したのは、教師が見てきたブータンの様子であり、紹介したこと以外にもブータンには様々な文化があり、様々な民族がいることを伝え、イメージが偏らないようにする。]

【挨拶シート】

【4フレンズ(自作のパワーポイント)】

クズザンポー		シール
名前	Aくん	
	Bくん	
	Cさん	
	Dさん	
	Eくん	
	Fくん	
	Gさん	
	Hさん	



【4フレンズ】

<物語の内容>

ブータンの国語の教科書にも載っている有名な話があるので、紹介します。4フレンズといいます。

昔、世界の木と呼ばれる木がありました。この木は大変美味しい実と美しい花を咲かせ、みんなに愛されていました。ある日、象が一本の木の下で休んでいると猿がやってきました。

象が「自分がまだ小象だった頃は同じくらいの背丈のこの木で身体をこすったものだ。」と言いました。

すると猿が「自分が小猿だった頃はまだこの木には遊べるほどの枝もなかったよ。」と言い、「自分の方がこの木を長い間知っている。」と言いました。

そこにうさぎがやってきて、「自分が子供の頃はこの木はほんの小さな木で、上を飛び越えて遊んだ。」と言いました。

最後に鳥がやってきて、「この木の種をここに運んできたのは自分だよ。上を飛んでいたら落としてしまったんだ。」言いました。

<生徒への発問及び物語の結末>

Q1: 4匹の中で一番年上はだれでしょう？

Q2: 一番昔から、木のことを知っていたのは誰でしょう？

⇒**黒板で動物を並べる。**

- ・ こうして、一番年下は象となり、象はすぐ年上の猿を尊敬して(大切に思っ)背中に乗せました。

⇒**黒板で動物を並べる。**

- ・ 猿は自分より年上のうさぎを尊敬し頭の上に寄せ、うさぎは一番年上の鳥を尊敬して頭の上に寄せました。

⇒**黒板で動物を並べる。**

- ・ すると、たくさん実った果実に手が届き、鳥は実をとって年下の動物に順番に渡しました。

⇒**黒板で実を操作する。**

- ・ 4匹の動物はお互いを尊敬して仲良く平和に暮らしました。

ブータンの人は、年上の人を大切にします。→**尊敬**

ブータンの人は友達のことを大切にします。→**友情**

ブータンの人たちは仲間と力を合わせます。→**協力**



< 参考文献 (引用文献・参考資料) >

・『読売新聞』2012年5月25日朝刊「教育ルネサンス」

・「ブータン-Wikipedia」<<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%96%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%B3>>
ウィキメディア財団(2012年9月6日アクセス)

・「無料イラスト素材のイラストポップ」<http://illpop.com/animal_top01.htm> (2012年10月15日アクセス)

・「旅倶楽部 こま通信」小松良一氏個人ブログ(2012年9月6日アクセス)

<<http://komatsusin.hopto.org/koma/modules/iDiary/index.php?mode=show&date=20120126>>